



第3号

平成28年6月2日  
六ツ美中部小学校

# 岡崎市制100周年記念 六ツ美中部学区・小学校体育祭



子供たちの思い

体育主任 大西さゆり

体育祭は、学校生活における大きな行事の一つです。市制百周年を記念するこの年に、ふるさと六ツ美中部小で、力の限りを尽くす体育祭を創り上げ、子供たちの心に生涯の宝物として残してやりたいと思いました。

そこで、体育委員を中心に全校児童の思いを込めて、スローガンを作りました。「輝け 六中小魂 届けよう 未来へバトンを」です。子供たちの心は、熱く燃えていました。一人の子供が言いました。

「何十年後か、自分の子供に言うんだ。お父さんが小学生のとき、市制百周年記念で、体育祭のスローガンを考えてがんばったんだぞって。」

子供たちの思いは、力となり技となり、この体育祭で美しく輝きました。未来へと六中小魂のバトンが繋がっていきます。

輝け 六中小魂 届けよう 未来へバトンを

たのしかったよ

たいいくせい

一年二組 かとう そつま

「わっしょいりれい」で、ほくはうしろでした。ほつるがおちないようにならばりました。たのしかったです。



ちゅうぶっこ うちゅうたんけんたい

なかよく わっしょいりれー

本気で楽しく

二年一組 萩原 けいた

「ちゅうぶっこ うちゅうたんけんたい」では、さいしょからさいごまでびんびんにのびしてできました。はしるところもちやんとできました。おわってから、本気で楽しくできたなおもいました。

空にひびけ

六中だましい

三年一組 碧海 諒良

石川先生が、はじめて「ライジングサン」をおどってくれたとき、かっこいいと思いました。もっとうまくなりたいから、休み時間にもCDを流して練習しました。本番は、お客さんがたくさんいてどきどきしたけれど、しっかりおどれてすっきりしました。ほくの気持ちは、空に届いたと思います。



岡崎の空にひびけ！六中エナジー

笑顔いっぱい体育祭

四年一組 山本 聖納

ほくの体育祭の一番の思い出は、ダンスです。本番では、先生が教えてくれたうまおどることを思い出し、見に来てくれたいろいろな人に笑顔をあげられるようがんばりました。最後の「プラミッド」のところで、ほくは「かがやけ」の「か」の字を持ち、上に立ちました。笑顔で大きな声で、全力で声を出しました。みんなの笑顔と元気がいっぱい体育祭になりました。

みんなに支えられて

五年二組 足立 廉

ほくは、体育祭で百分の力を出すことができました。いっぱい練習をした組み立てでは、ほくはすべての技で上に上がりました。一番心配だったピラミッドでは、土台のみんながしっかりとがんばってくれたので、ほ

くは安心して上に上り、成功させることができました。来年は六年になるので、もっとがんばりたいです。



六ツ美五輪  
～97の熱い思い～

最後の組み立て体操

六年一組 杉浦 実莉

組み立て体操の順番を入場門で待っているとき、小学校生活最後の体育祭だと思うと練習の何十倍も緊張しました。演技の最中は、先生に注意されたことを思い出しながら最高の演技をするよう心がけました。退場したとき、ほっとした気持ちと達成感で涙が止まりませんでした。この涙は、九十七人で作った演技が素晴らしいものであった証だと思っています。